

令和4年度 第2次筆記試験 事例Ⅳ(解答用紙)

第1問 (配点 25 点)

(設問 1)

	(a)	(b)
①	売上高総利益率	59.59 (%)
②	棚卸資産回転率	33.41 (回)
③	労働生産性	820.17 (万円/人)

(設問 2)

同業他社に比べて労働生産性が低い。その要因は、売上に比べて従業員数が過大なため一人当たりの売上高が低いこと、労働分配率が高いこと、資本装備率が低いことが挙げられる。
--

第2問 (配点 20 点)

(設問 1)

(a)	2,840,000 円
(b)	<p>製品 1 個の 1 時間当たりの限界利益を計算すると、 製品 A : $(7,800 - 400 \times 4 - 1,200 \times 2) \div 2 = 1,900$ 円/h 製品 B : $(10,000 - 400 \times 2 - 1,200 \times 4) \div 4 = 1,100$ 円/h 作業時間以外に制約条件がないので、限界利益が大きい製品 A を作業時間の上限まで生産する。生産数は、 $3,600 \div 2 = 1,800$ この時の利益は、 $3,800 \times 1,800 - 4,000,000 = 2,840,000$</p>

(設問 2)

(a)	2,200,000 円
(b)	<p>製品 A の生産数を X、製品 B の生産数を Y とすると、制約条件は、 原材料 $4X + 2Y \leq 6,000$ 作業時間 $2X + 4Y \leq 3,600$ 2 つの制約条件の交点を求めると、 $X = 1,400$、$Y = 200$ これが利益を最大にするセールスマックスで、その時の利益額は、 $3,800 \times 1,400 + 4,400 \times 200 - 4,000,000 = 2,200,000$</p>

第3問 (配点 35 点)

(設問 1)

(a)	412,500 円
(b)	<p>自社で点検整備を行う場合の変動費は $6,000 + 7,500 \times 30\% = 8,250$ 円 買取額を X 円とすると、外注した場合の費用は、 $0.02X$ 円 なので、 外注費が自社整備を下回る条件は、 $0.02X \leq 8,250$ $X \leq 412,500$ 円</p>

(設問 2)

(a)	15,660,000 円
(b)	<p>追加 20 台分の販売収入は $600,000 \times 20 \times 12 = 144,000$ 千円 追加 20 台分の調達費用は $500,000 \times 20 \times 12 = 120,000$ 千円 追加 20 台分の整備費用は $14,500 \times 20 \times 12 = 3,480$ 千円 減価償却費は $72,000$ 千円 $\times 90\% \div 15 = 4,320$ 千円 従って、 $CF = (144,000 - 120,000 - 3,480 - 4,320) \times 70\% + 4,320 = 15,660$ 千円</p>
(c)	5.24 年

(設問 3)

(a)	1,591,184 円
(b)	<p>1 年目から 5 年目までの CF の現在価値は、 $15,660,000 \times 4.2124 = 65,966,184$ その後の CF の現在価値は、 $1,500,000 \div 0.06 \times (0.7473 \div 1.06) = 17,625,000$ 初期投資額は、 $72,000,000 + 500,000 \times 20 = 82,000,000$ 従って $NPV = 65,966,184 + 17,625,000 - 82,000,000 = 1,591,184$ 円</p>

第4問 (配点 20 点)

為	替	変	動	リ	ス	ク	と	資	金	流	動	性	リ	ス	ク	が	考	え	ら
れ	る	。	為	替	変	動	リ	ス	ク	は	為	替	予	約	等	に	よ	り	回
避	す	る	こ	と	、	資	金	流	動	性	リ	ス	ク	は	資	金	計	画	を
策	定	し	、	資	金	繰	り	に	応	じ	た	仕	入	を	行	う	等	に	よ
り	資	金	シ	ョ	一	ト	を	回	避	す	る	こ	と	を	助	言	す	る	。